

那覇港だより

な は みなと

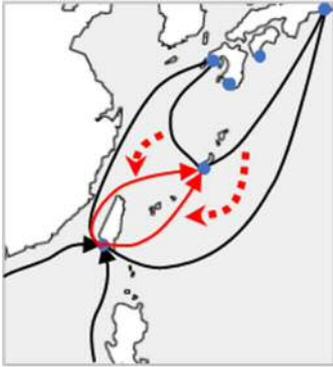
令和3年（2021年）8月 第23号

目 次

トピックス

那覇港外貿貨物増大に向けた取り組みについて	1
那覇港の輸出貨物増大に向けた荷主対象の取組について	1
那覇港－釜山港－台湾間の外航定期航路の船舶大型化について	1
那覇港総合物流センターの取扱貨物量の実績について	1
職場献血の実施について	2
令和3年度港湾施設使用料等の納付期限猶予について	2
沖縄県那覇クルーズターミナル接種センターの開設について	2

①那覇港外貿貨物増大に向けた取り組みについて



移入から輸入への転換イメージ

外貿貨物の増大に向けた取組として、「新たな方策^{※1}」を検討しており、その方策を促すための調査及び「新たな支援制度（案）^{※2}」の可能性調査を行います。その調査を通じて、那覇港における「新たな方策」の効果と関係者への影響を把握することにより、新たな支援制度（案）の有効性を検証する予定となっております。

※1 新たな方策とは「移入から輸入への転換など」をいう。

※2 新たな支援制度とは「輸入切替への助成」を想定。

可能性調査の期間：令和3年9月下旬～12月下旬（予定）

②那覇港の輸出貨物増大に向けた荷主対象の取組について



令和3年4月から令和4年3月までの期間、実証実験を実施しています。輸出貨物を対象に荷主に対して補助を行うとともに、コストやリードタイム等を検証し、物流コストの低減等の検討を行います。

7月末時点で16社が参加しています。

③那覇港—釜山港—台湾間の外航定期航路の船舶大型化について



大型化後の那覇港への初寄港の様子

外貿貨物の増大を図るため、外航船社に対し港費の一部を支援することにより、航路の拡充と国際コンテナ貨物の増大、定期航路の定着化に向けた取り組みを進めており、支援を行っている ITX 航路（愛媛オーシャンライン（株））の船舶が令和2年10月に5,403トンから9,443トン^{※1}に大型化^{※2}され、荷主へのサービス強化や那覇港の外貿貨物取扱量の増加による輸送コストの低減が期待されます。

※1 総トン数表記。

※2 積載個数は556TEUから920TEUに大型化。

④那覇港総合物流センターの取扱貨物量の実績について



那覇港総合物流センター

那覇港総合物流センターは、令和元年5月の開所から2年経ちました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、世界的に物流業界も大きく影響を受けたところですが、本センターでは順調に貨物量が増大しており、令和2年度の搬出計画数値83,834トンに対し実績は139,774トンとなっております。

職場献血の実施について

那覇港管理組合において、沖縄県赤十字献血センターへ職場献血の実施を申し入れたところ、令和3年4月26日(月)に当組合へ献血バスを配置していただき、当組合職員、また那覇ふ頭船客待合所入居の企業の方々の協力もいただいて、20人の献血を行うことができました。



令和3年度港湾施設使用料等の納付期限猶予について

那覇港管理組合では港湾施設の使用料の納付が困難となる事業者等の負担を軽減し、那覇港の港湾活動を維持するため、使用料納付期限の猶予を行っています。

対象は、雇用調整助成金や持続化給付金、家賃支援給付金等の支援制度に申請している者で、令和3年4月から9月に納付期限が到来する港湾施設使用料等を、納付通知書に記載された納付期限から6ヶ月間猶予します。

詳しくはホームページ(トップページ→注目情報→港湾施設使用料等の納付期限猶予について)を確認の上、不明な点は管理課(098-862-2328)までお問い合わせください。



沖縄県那覇クルーズターミナル接種センターの開設について

沖縄県は、令和3年7月22日に、那覇港管理組合が管理する那覇クルーズターミナルにおいて、新型コロナウイルスワクチン県広域接種センターの運用を開始しました。

那覇港管理組合は、今後も新型コロナウイルスの早期収束に向け、沖縄県等と協力していきます。

那覇港だよりに関するお問い合わせやご意見、情報の送り先

那覇港管理組合総務部総務課

〒900-0035 那覇市通堂町2番1号（那覇ふ頭船客待合所3階）

TEL:098-868-2578 FAX:098-868-2629

e-mail: kumiai@nahaport.jp